

のうない りゅうち ようざい

ギリアデル脳内留置用剤 7.7 mg

【この薬は？】

販売名	ギリアデル脳内留置用剤 7.7 mg
一般名	カルムスチン Carmustine
含有量 (1 枚中)	カルムスチンとして 7.7 mg を含有する

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- この薬は、抗がん剤のアルキル化剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- この薬は、がん細胞の DNA 複製を阻害することによりがん細胞の増殖をおさえる薬です。
- 次の病気の人に、医療機関で使用されます。
悪性神経膠腫（あくせいしんけいこうしゅ）
- この薬は、手術により患部を切除した後、切除面を覆うように脳内に直接留置することにより、効果を示します。
- この薬は、医療機関において、手術時に医師により留置されるものです。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を留置することはできません。
 - 過去にギリアデルに含まれる成分で過敏症を経験したことがある人
 - 妊娠または妊娠している可能性がある人

- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・授乳中の人
- この薬を留置する前に、術中迅速病理組織診断などにより組織型の確認が行われます。

【この薬の使い方は？】

この薬は、手術時に脳内に直接留置されます。

●使用量および回数

使用量等は、あなたの症状や患部の状態などにあわせて、医師が決め、医療機関で使用されます。

通常、成人の場合、腫瘍を切除した面の大きさや形状に応じ、8枚あるいはそれより少ない枚数が使用されます。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・妊娠する可能性のある人は、この薬を留置された後、最低 2 週間は適切な避妊法で避妊してください。
- ・パートナーが妊娠する可能性のある男性は、最低 3 ヶ月間は適切な避妊法で避妊してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
大発作痙攣 だいほっさけいれん	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
脳浮腫 のうふしゅ	めまい、意識の低下、頭痛、視力の低下、深く大きい呼吸、手足のふるえ、精神の混乱
頭蓋内圧上昇 ずがいないあつじょうしょう	けいれん、意識の低下、頭痛、嘔吐
水頭症 すいとうしょう	頭痛、嘔吐、活動性の低下、意識の低下、意識の消失
脳ヘルニア のうへるにあ	けいれん、意識の低下、頭痛、嘔吐、呼吸の異常
創傷治癒不良 そうしょうちゆふりょう	傷が治りにくい

重大な副作用	主な自覚症状
感染症（創傷感染、膿瘍、髄膜炎） <small>かんせんしょう（そうしょうかんせん、のうよう、ずいまくえん）</small>	発熱、寒気、体がだるい、頭痛、吐き気、嘔吐、手足が動かさにくくなる、しゃべりにくくなる、言葉が出にくくなる、めまい、意識の低下、傷のはれ、傷がある部位の痛み
血栓塞栓症（脳梗塞、深部静脈血栓症、肺塞栓症） <small>けっせんそくせんしょう（のうこうそく、しんぶじょうみやくけっせんしょう、はいそくせんしょう）</small>	吐き気、嘔吐、脱力、まひ、激しい頭痛、胸の痛み、押しつぶされるような胸の痛み、突然の息切れ、激しい腹痛、お腹が張る、足の激しい痛み、発熱、皮膚が青紫～暗紫色になる、手足の爪が青紫～暗紫色になる、唇が青紫色になる、下肢のむくみ、下肢の痛み、突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然片側の手足が動かさにくくなる、突然の頭痛、突然の嘔吐、突然のめまい、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる
出血（腫瘍出血、脳出血、頭蓋内出血） <small>しゅっけつ（しゅようしゅっけつ、のうしゅっけつ、ずがいないしゅっけつ）</small>	出血、突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然片側の手足が動かさにくくなる、突然の頭痛、突然の嘔吐、突然のめまい、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	脱力、まひ、発熱、寒気、体がだるい、顔や手足の筋肉がぴくつく、けいれん、出血
頭部	激しい頭痛、一時的にボーっとする、意識の低下、頭痛、突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然の頭痛、突然のめまい、活動性の低下、意識の消失、めまい、精神の混乱
眼	視力の低下
口や喉	吐き気、嘔吐、唇が青紫色になる、突然の嘔吐、しゃべりにくくなる、言葉が出にくくなる、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる
胸部	胸の痛み、突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み、深く大きい呼吸、呼吸の異常
腹部	激しい腹痛、お腹が張る
手・足	足の激しい痛み、手足の爪が青紫～暗紫色になる、下肢のむくみ、下肢の痛み、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、突然片側の手足が動かさにくくなる、手足のふるえ、手足が動かさにくくなる
皮膚	傷が治りにくい、皮膚が青紫～暗紫色になる、傷のはれ、傷がある部位の痛み

【この薬の形は？】

販売名	ギリアデル脳内留置用剤 7.7 mg
性状・剤形	微黄白色～微黄色の円盤状の脳内留置用徐放性製剤
形状	 直径：約 14.0 mm 厚さ：約 1.3 mm
識別コード	なし

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	カルムスチン
添加物	ポリフェプロサン 20

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・ 症状、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・ 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
製造販売会社：エーザイ株式会社 (<https://www.eisai.co.jp/>)
h h c ホットライン
フリーダイヤル：0120-151-454
受付時間：9時～18時（月～金） 9時～17時（土、日、祝日）